

(1) 昭和58年1月1日

(毎月1回1日発行)

宇都宮会議所ニュース

昭和43年4月11日
第3種郵便物認可

定価一部60円 第232号

なんでもナンデモ相談日

行政から暮らしの相談まで、よろづ相談
日 時 3月3日休・4日㈮
午前10時~午後4時
場 所 当所(2階)
内 容 法律・金融・年金・内職他

宇都宮



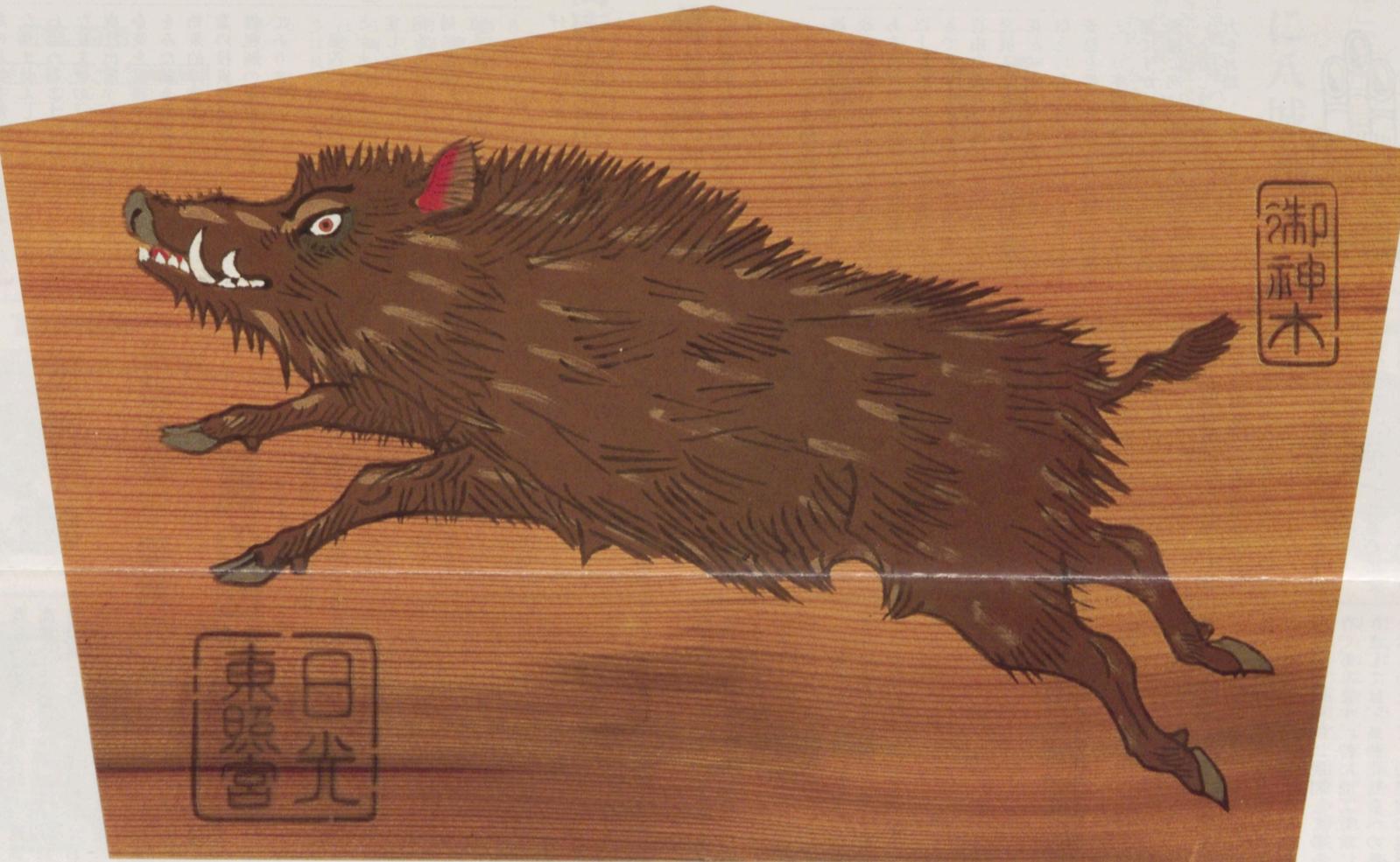
(会員購読料は会費の中
に含まれております。)

発 行 所

宇都宮商工会議所
宇都宮市中央3-1-4
〒320 ☎ 37-3131
編集者 橋本邦男
発行人 印刷所 ショウワ印刷株式会社

宇都宮市人口 389,965人
当会議所会員数 5,761人

謹賀新年



亥歳寿詞

今年は十二支の最後の亥
猪年です。猪は勇猛な動物で古くから山神の御使とも、又多産の獸であるところから、豊作をもたらす田の神とも考えられています。

我国では単にシンとも、亥の子とも呼ばれ、旧暦十一月の亥の日を亥の子と称し、この日に五色の餅を作りこれを食すと、無病息災であります。

宮中では天皇みすから餅を作り臣下に下賜するようになり、民間では亥の子餅を作つて福の取扱を祝う風習が各地に有ります。

突の言葉通り勇猛心を興し難を乗り越え、稔り多い年になりました。

(原画
米陀
日光東照宮提供
寛画伯)

議 監

員 事

盛高阿加鈴山田閑渡亀柴長永本竹築鈴館田鈴安河田中渡斎宮木岡増松福篠赤上竹笠笠福木植野青福橋藤横小見河川橋部田木崎嶋口辺田田瀬井多沢木野中木中合代村辺藤本村川瀬本田崎塚野石原間田村木沢木田木本倉平当合誠松鶴功義岑光正 賢智 光整郁勘親精良房健 利長五裕 菊幹善三一 修丑正靖俊 芳卯源新邦 良裕邦順之次二吉吉幸三雄男男健治男弘登男作夫郎雄次亮司治博雄造一司繁造男郎男郎毅郎松郎朗次明郎郎吉一男清夫康雄助

事務局長

職 萩鉢水戸鈴七中田坂石河本矢福矢田手丸松斎大森鈴柏青服上江高岡岡坂金松保河堀松丸永宮柳上柏箕坂檜过員 田木木原島中口川合多沢田嶋代塚田丸藤出 木田木部野口橋 沢井子村坂上井田野木野谷輪木山一 幸孝明達英義 和幸守 靖 明良昇信正俊仲裕光養金益惠勝宝栄安新友甚光正陽 一光泰 文忠勝恒 由兵同 助義男一一敏男郎人清正武男吉吉郎夫郎彦男助郎治助弘輔郎男郎衛一雄雄二毅弘郎雄延孝昭市郎道衛

宇都宮商工会議所

